

スポーツ実技(バスケットボール) (1) (2)		実習	非常勤講師 棟方 公寿
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの専門 選択科目、スポーツトレーナーコースの専門選択科目 教職科目 柔道整復師コースの教養選択科目 救急救命士コースの教養選択科目 教職科目	科目ナンバリング	11322106 11532101 12220108 12532101 13220111 13532101

1. 授業のねらい・概要

バスケットボールを通じて個々の運動能力, 体力の向上を目指し, またチームの一員としてどのように役割を果たし, 貢献できるかを考えることで, 自己の責任とコミュニケーション能力の向上を目指す。さらに, 教員を志望する学生は指導法を考えながら実施することを目指す。

2. 授業の進め方

基礎的なスキル練習を行ないながら, 1on1, 2on2, 3on3, 4on4 などを経て, 5on5 のゲームへと発展させる。

3. 授業計画

1. ガイダンス (バスケットボールの概論)	8. 準備運動、基本的スキル 5on5 (Off・Def の基本)
2. 導入(設備・用具・準備運動「ドリブルレイアップシュート」・5on5)	9. 準備運動、パス&ラン⇒2 メンカッティングムーブとスクリーンプレイ
3. 準備運動、ファンダメンタル(ドリブルの基本的な考え方⇒2 ボールドリブル)	10. 準備運動、基礎的スキル 2on2⇒5on5 (ハーフコート)
4. 準備運動、ファンダメンタル(ドリブルのタイプ⇒1 ボールドリブル ZigZag)	11. 準備運動、基礎的スキル 3on3⇒5on5 (ハーフコート)
5. 準備運動、ファンダメンタル(パスの基礎知識・パスの種類・キャッチ)	12. 準備運動、基礎的スキル 4on4⇒5on5 (ハーフコート)
6. 準備運動、1on1 の技術と戦術(オフェンス)	13. 準備運動、5on5 (ゲームの進め方)
7. 準備運動、1on1 の技術と戦術(ディフェンス)	14. 準備運動、5on5 (ゲームを楽しむ)
	15. 準備運動、5on5 (ゲームとまとめ)

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

バスケットボールの最新ルールを事前に調べ, ある程度理解しておくこと(1時間)。個人のスキルに関して, 可能な範囲で繰り返し練習をしておくこと。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

授業ごとにその日の練習のテーマに関して質問, 感想, 意見等を聞き, 回答する。

6. 授業における学修の到達目標

バスケットボールの基礎技術を身につけること。また, 教員志望者は授業の展開の仕方, 注意する点などを学び, 教育実習に活かせるよう自分の指導法の選択肢を増やすことを目的とします。

7. 成績評価の方法・基準

積極性などの平常点 (60%), 意欲態度 (20%), 知識技量 (20%)。

8. テキスト・参考文献

特になし。必要があれば授業中に紹介, またはプリントを配布することがある。

9. 受講上の留意事項

バスケットボールは比較的激しいスポーツであり、ダッシュやジャンプを繰り返し行なうため、服装はスポーツに適したものを着用し、シューズも可能な限り、衝撃を吸収する素材のものを使用すること。Gパンやチノパンなど、また外履きシューズの使用は認めない。Tシャツ、ジャージ等スポーツにふさわしい服装で臨むこと。
さらに、爪は短く切り、ネックレス、ピアス等は、危険なので外すこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。